

工業用水道事業会計
主な収益の推移

(単位:千円)

項 目	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算	前年度増減
給水収益	1,204,601	1,197,825	1,190,666	1,194,891	1,191,960	△ 2,931
共同施設管理収益	262,217	261,008	337,419	386,164	413,407	27,243

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年	
配水能力	170,000 m ³ /日	
配水管延長	61 km	
給水社数	52 社	
年間総配水量	21,954,000 m ³	(前年度比 +0.0%)
1 日平均配水量	60,148 m ³	
年間契約水量	47,473,000 m ³	(前年度比 -0.3%)
1 日平均契約水量	130,063 m ³	
年間総給水量	21,816,000 m ³	(前年度比 +0.0%)
1 日平均給水量	59,770 m ³	

- (1) **工業用水道事業の施設のあり方** 224,021
(83,843)

ユーザー企業の減少により、将来の施設のあり方について、他の事業体と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指す。

- 公営主要 P4
- ・江口取水場ポンプ設備等更新工事
 - ・園田配水場特高 VCB（真空遮断器）交換
 - ・神崎浄水場園田系シーケンサ改造工事
 - ・一津屋取水場電気設備等設計業務委託
 - ・一津屋取水場導水ポンプ用吐出弁及び逆止弁更新工事 等
- 債務負担行為（6 年度提出分）金額 89,996



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

- (2) **管路の計画的更新と維持管理** 560,171
(551,406)
- 公営主要 P5 「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取組を推進する。
- ・配水管整備工事 0.5km
 - 管路の耐震化率 見込み 66.8%
 - ・維持管理点検及び維持管理工事
 - ・延命化策定支援業務委託
- 債務負担行為（6 年度提出分）金額 225,524

- (3) **経営の効率化** 1,600
(0)
- 公営主要 P9 業務効率化の向上に向けた ICT の利活用を推進するなど、さらなる経営の効率化を図る。
- 業務上の制度やルール等に関する情報をデータ化し、必要な情報を導き出す業務用生成 AI サービスを導入する。